

1 研究主題

「未来を拓き、ともに生きる豊かな社会を創り出す子供の育成を目指す学校経営の実現」
～道東の拠点、釧路市の特性を生かした学校教育の創造～

2 研究推進の概要

(1) 基本方針

- ①釧路市小中学校校長会の「基本方針」を踏まえ、教育改革の推進と教育課題を勘案しながら、校長としての職能向上を図るため、組織的研究に努める。
- ②道中・全日中などの基本課題に基づき、21世紀を担う日本人の育成を目指して、学校経営の活性化と経営の充実に反映する研究を推進する。

(2) 第67回釧路市学校経営研究協議会（令和6年1月10日開催）

①講演会

- ・演題：「今日的な教育課題について」
- ・講師：北海道教育庁釧路教育局長 泉野将司氏

②分科会（研究主題及び提言テーマ）

- 【研究主題①】「危機管理や偶発的問題等、学校を取り巻く諸問題へ適切に対応する学校経営」
- 【研究主題③】「命を大切にし、自立心や他を思いやる心をはぐくみ、目的をもって生きることの必要性を実感する道徳教育・生徒指導・進路指導・健康安全教育の実践～生徒指導の機能を生かした教育活動の展開～」

*研究主題②・④は、小学校長が提言

(3) 校種別（中学校）研修会

- 下記の内容のレポート（提言）を基に、意見交換を行った。
 - ・インシデント・プロセス法を活用した事例検討について
 - ・組織力・チーム力のある学校づくりについて
 - ・学校経営における「アセスメント」と「ファシリテーション」について

(4) 小中合同研修会の開催

- 年4回、経営部及び特別委員会と連携して開催した。
 - ・生徒指導提要と学校経営について
 - ・「連携・協働」における課題と展望について
 - ・働き方改革について（他校の取組の進捗状況の把握、自校の取組の現状の分析・業務改善へ）
 - ・部活動の地域移行について

3 研究の成果と課題

令和5年度は、年度当初に計画していた研修を実施することができた。また、今日的な教育課題に関する各校の取組について交流し、協議内容を深めることができた。

今後は、他の部や関係機関とも連携しながら、校長自ら資質向上に務め、経営改善の意識を高める研修活動に努めたい。

1 研究主題

「未来を拓き、ともに生きる豊かな社会を創り出す子供の育成を目指す学校経営の実現」
～道東の拠点、釧路市の特性を生かした学校教育の創造～

2 研究主題設定の趣旨

今日、我が国においては、情報化・グローバル化の進展、人工知能(AI)の飛躍的な進化など、社会構造などが大きく変化し、少子高齢化の中、生産年齢人口の減少といった深刻な問題も抱えている。また、人間関係の希薄化や家庭の孤立化、雇用の不安定化などにより、変動性、不確実性、複雑性、曖昧性の時代と言われる先行きの不透明感や閉塞感が一層強まってきている。このような時代を生きる子供たちには、答えが複数導かれる事象に対しても、しなやかに正対できる姿勢が求められる。そして、持続可能な社会の実現に向けて自分にできることを導き出し、他者と協働しながら解決に向かうことができる資質・能力が求められる。

釧路市に住む子供たちが主体的に学び続け、多様な人々や様々な価値観の存在する社会と関わり合うことを大切に、自分らしさを最大限に発揮し、夢や目標に向かって果敢に挑み、よりよい社会や新たな価値を創造できるように育てていくことは、ここに住む大人に課せられた使命であり、「人づくり」、すなわち「教育」の大きな役割の一つである。つまり、一人一人の児童生徒が、自分のよさや可能性を認識し、他者を価値のある存在として尊重・協働しながら社会変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となる資質・能力を育成することが学校教育に求められていると解釈できる。

昨今の全連小、全日中、道小、道中の各研究主題には、「未来を拓き」「新たな時代を切り拓き」という文言が含まれている。奇しくも使われている「拓く」の漢字には、北海道の先人達のように様々な困難に怯むことなく、失敗を重ねながらも、力強く確実に前に進んでいく、そんな願いが込められているのではないだろうかと推察する。

また、2023年度に新たに策定され、今後5カ年計画で進められる北海道教育推進計画、さらには2018年3月に策定された釧路市教育大綱、そして令和5年度から5カ年計画で進められる第Ⅲ期釧路市教育推進基本計画には、ふるさと(釧路市)の未来を担う「人づくり」の方向性と、進んでいく行程が詳しく示されている。

上記のような時代からの要請や釧路市が目指している「人づくり」を踏まえたとき、現在の釧路市学校経営研究会の基本主題が、それらをしっかりと受け止め、将来に向けても十分合致していくものであり、基本主題にふさわしいと考える。

なお、今日的な課題については、各分野の研究主題の文言やキーワードを検討することで学校経営を巡る緊急性・多様性・課題性への対応に工夫を加えて今後も対応できるものとおさえている。

そこで、研究主題の設定にあたって、次の3点を基本に据えた。

- ①教育改革が多面的に進行する中、時代に対応し、それを実践へと結び付ける姿勢を示すこと
- ②全連小、全日中、道小、道中との関連をもたせつつ、釧路市の特性、独自性を大切にすること
- ③「経営研究」であることの視点を明確にすること

以上のような視点に立ち、急激に変化する社会、教育改革の進行を適確に捉え、学校経営をめぐる緊急性、多様性を考慮しつつ、21世紀にあるべき教育の姿を求めて、本研究主題を設定した。

3 研究内容

- (1) 学校経営分野 ・時代に対応し、信頼と連携を基盤とした創意と活力に満ちた開かれた学校経営の実現
- (2) 教育課程分野 ・「生きる力」をはぐくむ方略と評価が適切に位置づけられた教育課程の編成・実施・評価・改善
- (3) 道徳教育・生徒指導・進路指導・健康安全教育的分野
 - ・命を大切にし、自立心や他を思いやる心をはぐくみ、目的をもって生きることの必要性を実感する道徳教育・生徒指導・進路指導・健康安全教育的の実践
- (4) 現職教育分野 ・時代の要請に応え、専門性を高め指導力向上を図る現職教育的の充実

4 研究推進計画

- (1) 第 68 回釧路市学校経営研究協議会の開催 ※詳細は検討中

【目的】

- ・新しい時代を展望する創意ある学校経営、今日的な教育課題に主体的に対応できる学校経営など、学校経営上の当面の課題について協議することにより、教育に携わる校長としての力量を高める。

【内容】

- ・講演、各研究分野の提言発表、研究協議 等

- (2) 小中合同研修会の開催

【目的】

- ・新しい時代を展望する創意ある学校経営、今日的な教育課題に主体的に対応できる学校経営など、学校経営上の当面の課題について校種の連携を踏まえた交流・協議を行うことにより、小学校長及び中学校長としての力量を高める。

【内容】

- ・年 4 回「今後の P T A 活動の在り方、組織、活動」「『リーダー育成』の現状と課題」「校長の戦略」「不登校対策」に関して、経営部及び特別委員会と連携して開催する。

- (3) 校種別（中学校）研修会の開催

【目的】

- ・令和 7 年度道中提言「第 3 分科会」の研究の視点を参考に、情報提供及び交流を通して、道中提言の実践事例の一端とするとともに、各校の学校経営の参考とする。

【内容】

- ・年 3 回「学校経営上のこれまでの取組、成果と課題」と題した情報提供を受け、さらに各校の状況を交流する。

- (4) 後継者育成研修の開催

【目的】

- ・管理職を目指す教員を育てる体制を構築するとともに、現職教員に対して、キャリアステージに応じて、職責を担っていく意識の醸成を図り、資質能力の向上を目指す。

【内容】

- ・年 8 回程度、キャリアステージに応じた現職教員対象の研修会を開催する。

5 研究組織

